

令和8年10月

下福田中学校だより



学校教育目標

- 知性の高まりをめざす
- 自主正善をめざす
- 健康をめざす

合唱の季節

10月は、校内に合唱の歌声が響く季節です。本校に限らず、日本中の多くの中学校でこの時期に合唱コンクールが開催されます。人前で歌うことに抵抗を感じたり、恥ずかしいと感じたりする生徒も少なくない(私自身がそうです・)にもかかわらず、なぜか、合唱コンクールは多くの中学校で“大きな行事のひとつ”として長年続いています。

先日、新聞で、合唱曲の金字塔として知られた「大地讃頌(だいちさんしょう)」を作曲した佐藤真氏の訃報が報じられていました。「私が中学生の頃、この曲を歌ったな」と、当時の記憶がよみがえりました。何年も通った学校で歌っていた校歌より、限られた期間に練習した合唱曲はしっかり覚えていたりします。音楽の記憶って不思議です。今でも車の運転中とか、お風呂に入っているときとか、ふとした瞬間に昔の合唱曲が頭の中に流れることがあります。急に頭の中で流れ始める、あの現象は、なんなんでしょうか。記憶に残る音楽、ふと思い出す音楽って、歌っていた回数や年月の長さだけでは決まらないのかもしれない。その時の仲間や時間、練習の苦労、うまく歌えた時の喜び、そして、本番の緊張感……。そうした思い出と一緒に、音楽が心に刻まれているのかもしれない。きっと、各クラスで取り組んでいる合唱曲も、生

徒たちの記憶に残る一曲になるのかもしれませんが。

今年度のS中祭合唱の部は、本校体育館の断熱工事により大和市文化創造拠点シリウスメインホールで開催します。多くの生徒にとって、メインホールのステージに立つことは初めての経験です。学校の体育館とは違う、いつも以上の「緊張」を感じるようになるでしょう。イチロー選手は、「重要な場面で『いやあ～、意外と緊張しなかったですね』なんて言う奴は一流じゃない。自分の仕事に対してやれる自信がある。その訓練もしてきた。だったら緊張するでしょ。上手くできると信じているし、上手くやりたいと思うから、そのときほど緊張するでしょ。緊張しないということは自分に期待していないということ。だから、緊張しない人はダメだと思う」と語っています。適度な緊張は集中力やパフォーマンスを高める「味方」であり、決して悪いことではありません。適度な緊張により、学校の体育館とは違った合唱を楽しみにしています。

多くの中学校で長年続いている合唱コンクール。中学校の生徒だった時、合唱コンクールを経験された保護者の皆さまも多いと思います。シリウスのメインホールでS中祭合唱の部を参観しながら、ご自身の中学校時代にも思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

(校長 宮崎 雅史)

S中祭(合唱の部、ステージ発表の部)のご案内

日時: 令和8年10月23日(金)14:00～16:00 【開場: 13:45】

場所: 大和市文化創造拠点シリウス 芸術文化ホール(メインホール)

◆参観対象者は、来賓、本校生徒及びご家族としています。ご家族で参観される方は、各ご家庭にお配りしている参観票を受付にご提出してください。

◆携帯電話、スマートフォン等は音の出ない設定してください。

◆写真や動画の撮影は禁止です。

今後の日程

10月 5日(月)朝会

10月 9日(金)3年学習診断テスト

10月 9日(金)2年弁論大会

10月23日(金)S中祭

10月27日(火)～11月 2日(月)3年三者面談

11月 2日(月)朝会

11月10日(火)3年進路保護者会

11月10日(火)給食費集金日

11月11日(水)～13日(金)期末テスト